

# 一般質問



橋本祐輔  
はしもと ゆうすけ



## 市農業政策の充実を

**質問**  
農業振興センターは、施策拠点としてどのような役割を果たしていくのか。

**答弁** 市長  
組織化によって、分散していたものを一元化し、効率的な農業振興策の展開が図られると考えています。



▶ J A、共済、市が連携して農業振興に取り組みます

農業者への的確な営農指導、販路の検討と拡大、地域特産物などの情報発信やPRなど取り組みが期待されます。各団体が専門分野において推進、点検調査、指導、実施などの役割分担を行い、市が積極的にリードしていききたい。

**質問**

有機農業の推進に関する国の法律が昨年末成立した。市が推進するための具体策は。

**答弁** 産業経済部長

有機農産物の生産・流通・消費のすべての段階を通じての取り組みについて支援を検討し、生産や消費が少しでも増えるよう環境整備をしていきたい。具体的には有機農業振興協議会（仮称）を設置し、推進策を検討していきたい。

さとういきみ  
佐藤生稔



## 頑張れ 豊後大野市

**質問**

国は、「頑張る地方応援プログラム」をスタートさせた。

これについての評価と今後の取り組みについて伺う。

**答弁** 市長

事業計画の財源を交付税枠に求めたことや成果指標が大都市に優位に働くのではないかと懸念があります。

今後は、指標の見直しや過疎高齢化が進む地域への配慮について、県を通じて国に働きかけを行い、本市独自の事業計画策定に向け、早急に専門チームを立ち上げ、取り組みます。

## 審議会の改革

**質問**

神楽会館建設審議会のように議員を審議会に入れることには問題がある。

広く公正な人材を登用するなど改革が必要ではないか。

**答弁** 総務部長

議員を審議会に入れることは違法ではないが、適当でないとの「行政実例」や「国の指針」もあることから最小限度にとどめたいと考えます。市民と行政の協働による審議会の運営体制が必要と認識しています。今後は、公募制の検討や女性委員の登用を図っていきます。



▲勇壮な舞い



祝 国重要無形民俗文化財（神楽は豊後大野市）  
御嶽神楽  
平成30年3月7日撮影